

更新

事業者名	熊本交通運輸株式会社
------	------------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

なくてはならない社会インフラを担う熊本の企業として、安全運転でお客様へ質の高い輸送を提供する事により、すべてのステークホルダーの満足度や利益が最大化されるように事業を推進するとともに、環境に配慮したトラックの増車や熊本のPR活動などに寄与する取組みを行い、熊本の運送業として今後も地域の発展に貢献し、繁栄する企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・最新型GPS機能付きデジタルタコグラフ・通信型ドライブレコーダーを導入し、それらを活用する事により徹底した運行管理・指導教育を行い、交通事故防止・業務の効率化を図る。	2027年までに事故率を10%減 (2023年度を事故基準に設定)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	・社員満足度の向上を図るため基本給を増額する。	2027年迄に基本給を5%増 (2023年度を基準に設定)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	(1)グループ会社と連携し、ダブル連結車を積極的に導入していくことで、物流の効率化を図り排出炭素(排気ガス)の低減を進めていく。 (2)トラックへ地域ブランドをラッピングし、全国へ宣伝を行う。	(1)2027年までに車両を12.5%増 2024年8台→2027年9台 (2)2027年までに車両を20%増 2024年24台→2027年29台

<パートナーシップ>

安全運転と質の高い輸送を目指す自社と、お客様、生産者との間に信頼関係を構築するとともに、自社内部においても、和を大事にする社訓を用いる事で働きやすい職場環境の整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・最新型GPS機能付きデジタルタコグラフ・通信型ドライブレコーダーを導入し、それらを活用する事により徹底した運行管理・指導教育を行い、交通事故防止・業務の効率化を図る。	2024年までに事故率 20%減 2021年100%→2024 年80% (2020年度を事故基準に 設定)	2021年度→達成 2022年度→未達成 人的要因の事故が多発 2023年度→達成
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	(1)地域の発展・繁栄を目的とし県外や遠隔地からも熊本で働けるように社宅を完備・2022年に新社宅完成予定 (2)働きやすい職場として社員満足度の向上を図るために年間休日を改訂	(1)2024年までに新社宅満 室 (2)年間休日の増加 2021年96日→2024年 105日	(1)新社宅満室 (2)年間休日の増加 2021年96日→2022年 12月に105日に変更済
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	(1)グループ会社と連携し、ダブル連結車やスワップボディ車を積極的に導入していくことで、物流の効率化を図り排出炭素(排気ガス)の低減を進めていく。 (2)トラックへ地域ブランドをラッピングし、全国へ宣伝を行う。	(1)2024年までに車両を30%増 2021年10台→2024年13台 (2)2024年までに車両を30%増 2021年18台→2024年24台	(1)2024年8台 未達成 車両導入計画を修正した為 (2)2024年24台 達成

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。